

2026 年度

名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻

博士前期課程 建築学コース

入学試験問題

専 門 科 目 I (計画系・設計製図)

【 設 計 製 図 】

一般選抜 (普通入試)

留学生特別選抜

社会人特別選抜

令和 7 (2025) 年 8 月 21 日 (木) 14:40~18:40

受験番号	
------	--

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、設計製図の問題である。問題は、この表紙および白紙 1 枚と、問題 3 枚の計 5 枚からなる。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し出ること。
- 2) 本冊子のホチキス止めを外さないこと。
- 3) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。
- 4) 本冊子の他に、答案図面用紙 (ケント紙) 1 枚、エスキス用紙 (トレーシングペーパー) 1 枚、受験番号シールが配布される。
- 5) 試験終了後、答案図面用紙の裏面右上に受験番号シールを貼ること。
- 6) 答案は日本語で解答すること。
- 7) 試験終了の合図があったら、答案図面用紙、エスキス用紙、本冊子を製図板の上に置き、試験監督者の指示に従って退室すること。

設計製図

課題：A市の郊外の敷地で観光客と地域住民がふれあう道の駅を設計しなさい。

1. 設計趣旨

地方都市であるA市では、①観光の促進、②地域の農業振興、③交流人口の増加を目的に、以下の条件を満たす新しい道の駅を整備することを求めている。

- ・ 敷地はA市の市街地と郊外の境界部に位置している。西側には低層住宅や商業施設が立ち並び、東側には農地が広がっており、のどかな田園風景が見渡せる。このように、まちと自然が隣接する場所で、敷地の東西の景観を活かした建築を計画してほしい。
- ・ 利用者は、地域住民と市外から訪れる観光客を想定し、主に公共バスまたは自家用車を利用して来訪する。敷地の西側にバス停があり、東側には大規模な屋外駐車場が既にあるため、敷地内に駐車スペースを確保する必要はない。
- ・ 設計する道の駅には休憩スペースの他、特産品直売所と観光案内所、子育てセンター、多目的室などの機能や空間を整備し、観光客には地域の魅力を発信し、地域住民には交流の場を提供する。その際、各機能および空間を明確に区画するのではなく、空間的つながりを創ることで、観光客と地域住民がふれあい、多様な活動が交わる道の駅とする。

2. 対象敷地

- 1) 敷地内は平坦であり、周辺との間にレベル差はない。
- 2) 来訪者は敷地の東西の両方面から道の駅にアクセス可能とする。駐車場から敷地への歩行者の入口は自由に設定して良い。
- 3) 用途地域：指定なし（容積率200%、建ぺい率60%）。
斜線制限、日影制限は配慮しなくて良い。

3. プログラム

1) 全般

- ・ 延床面積は1,000m²程度、階数は2階建て、構造は自由とする。
- ・ 必要諸室とその規模は、下記2)の条件を満たすこと。各室の面積は目安であり、機能を満たせば、各室の間の間仕切りの設置の有無は自由とする。

2) 必要諸室

① 休憩機能：

- | | | |
|----------|-------------------|------------------------|
| ・ 飲食スペース | 200m ² | フードコートやカフェを設置する。厨房も含む。 |
| ・ トイレ | 60m ² | 男女別WC、多目的トイレを設置する。 |

② 地域連携機能：

- | | | |
|----------|-------------------|--|
| ・ 特産品直売所 | 300m ² | 地域の農産物や加工品を販売する屋内マーケットとする。複数のエリアに分けて計画しても良い。 |
| ・ 観光案内所 | 50m ² | 市内の観光情報を発信、展示する場所とする。 |

③ 交流機能：

- | | | |
|-----------|-------------------|---------------------------------------|
| ・ 子育てセンター | 100m ² | 子育て相談室、授乳コーナー、プレイスペース、絵本コーナーなどを備えること。 |
| ・ 多目的室 | 100m ² | 地域イベントや活動を開催できること。 |

④ 屋外機能：

- | | | |
|----------|----|---|
| ・ 展望テラス | 適宜 | 2 階または屋上から敷地東側の田園風景を楽しめる展望スペースを設けること。 |
| ・ 屋外交流広場 | 適宜 | 屋外マーケットを開催することを想定し、屋内の特産品直売所と一体的に利用できるようにする。座って休憩できる空間も備えること。 |

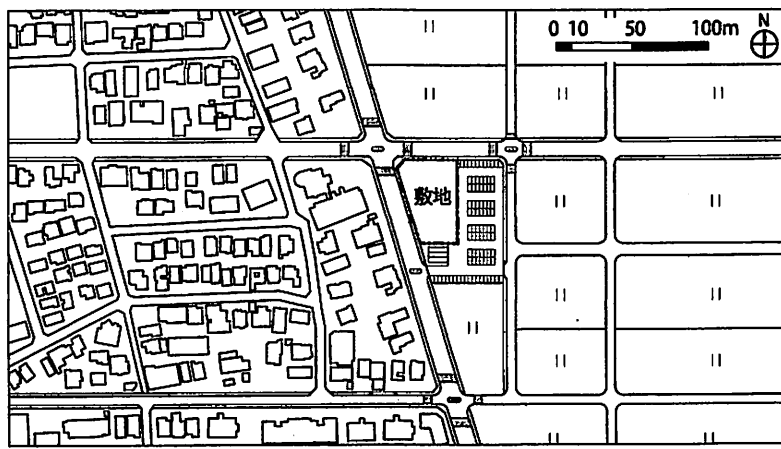
⑤ その他

- | | |
|-----------|----|
| ・ 倉庫 | 適宜 |
| ・ 電気室、機械室 | 適宜 |
| ・ 階段、EV | 適宜 |

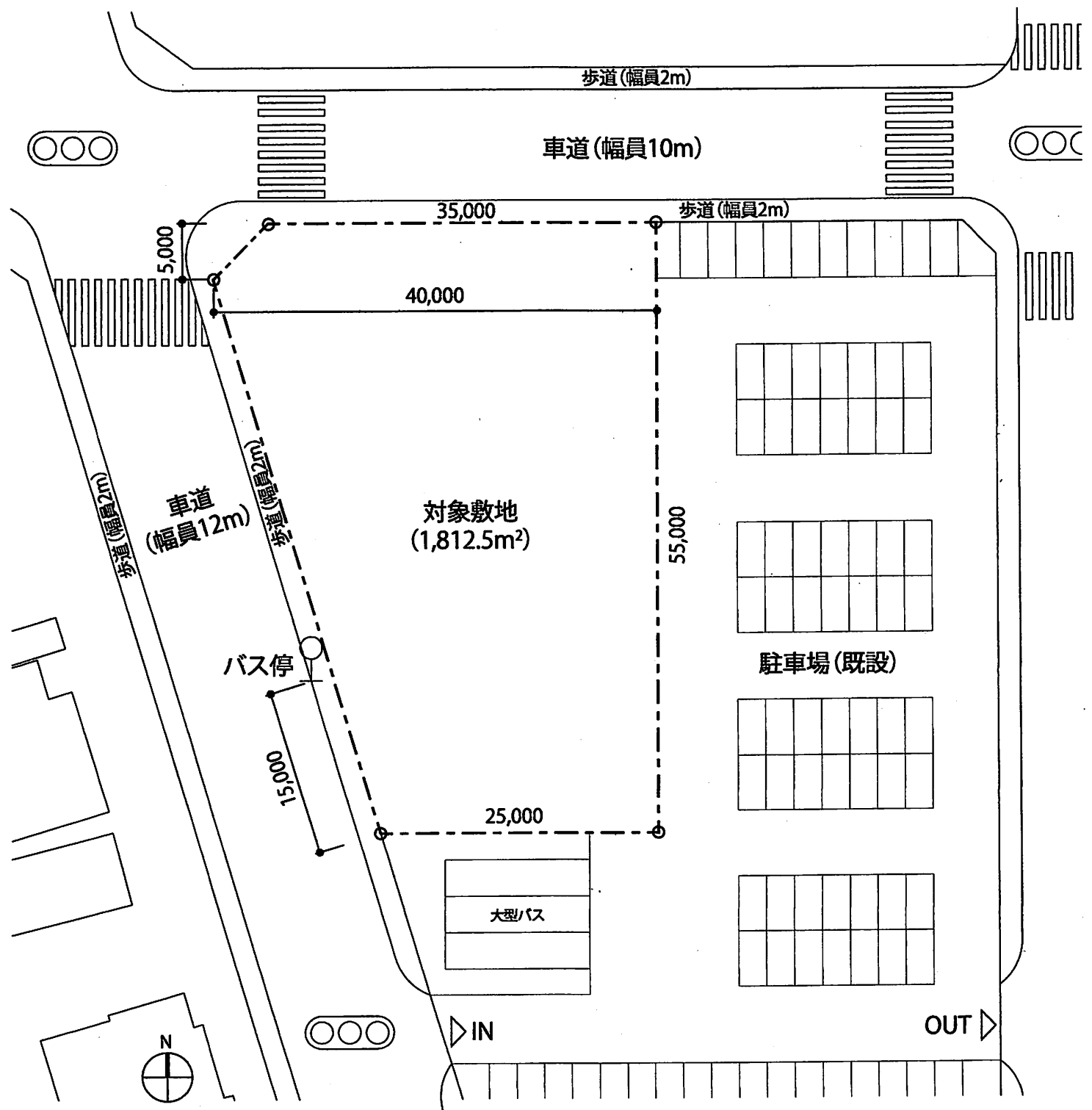
4. 必要図面

- 1) 配置図兼 1 階平面図 (S=1/200)：各部屋の室名と主要な家具を記入する。また、屋外の植栽、ファニチャー、舗装などの外構を表現すること。
- 2) 2 階平面図 (S=1/200)：各部屋の室名と主要な家具を記入する。屋上部分がある場合は、図面に表現すること。
- 3) 断面図 (S=1/200)：1 面
- 4) 立面図 (S=1/200)：1 面 (東立面または西立面)
- 5) パース：2 面 (意図した空間を最もよく示す外観 1 面および内観 1 面)
- 6) 設計主旨：①タイトルと②200 字程度の説明文章および③概念図を用いて、設計のコンセプト等を示すこと。
- 7) 各階の床面積と延床面積を示すこと。

以上



配置図 S=1/5,000



敷地図 S=1/500